

# 「広津よ永遠に」シリーズ その14

## 「広津の石仏・石碑・石像など」その2

2013.11.9

足沼地区の倉科さん宅に通じる道端に立派な石碑が間隔を置いて4つあります。倉科さんの奥さんにお聞きした所亡くなった旦那さんと二人で設置した物との事です。平成20年に山梨県の石材屋さんに依頼して。皆が幸せになり、見て喜んでもらおうと思って作成をしたとの事です。自宅に近い方から「春」「夏」「秋」「冬」と4つ建てたとの事です。旦那さんが俳句を奥さんが絵手紙風に書きました。「春」～ ふきのとう そと出て来てもお採(つま)まれ 春が来たはるが来た 野に山に!! (ふ)

「夏」～ 蝉しぐれ 遠い昔も おなじ音 せめて子供時代くらい 自然の中で思いっきり遊ばせて下さい (ふ) 「秋」～ やき芋を ほおぼる子等の 手の黒さ

ねんねんころりよ おころりよ 坊やはよいこだ ねんねしな!!

「冬」～ 爺までも 地蔵にするか 今朝の雪 幸せいっぱい

春



夏



秋



冬



こんな感じの場所です



夫婦仲の良さと絵手紙風の絵に ほんのぼのとした気持ちになりました。近くには比較的有名な「百体観音」がありますが、倉科さん宅に通じる道（私道？）には家が2軒のみで行き止まりになっています。従って残念ながら人目には付きにくい所に設置されています。もったいない事です。（10/18 撮影）

途中で撮ったアルプス



餓鬼岳が見える場所にあります

